

マスク 簡単に手作り

完成品



材料

布	20cm × 17cm
ガーゼ	15cm × 17cm
セットアップテープ (形状保持テープ)	約8cm(5mm幅)
ゴム	約30cm × 2本 (脇力・ユザワヤ)

作り方

----- 新たな縫い目 ----- 過去の縫い目

1 布の表側にガーゼを重ねる。上下をそれぞれ1cm空けて縫い合わせる

2 内側を表に戻して、上から1cmのところを縫う

3 筒状になったところにセットアップテープを入れる

4 テープがずれないように、2か所で縫って留める

5 下の★印を上★印に合わせるように折ってプリーツを付ける。●印と▲印も同様にする

6 アイロンをかけると、折りがしっかり付く

7 両端をそれぞれ5mm空けて縫い、プリーツを固定する

8 両端をそれぞれ2回折って縫い、筒状にする

9 筒状になったところにゴムを通して結び目は筒の中に入れる

ガーゼと布好きな柄で

新型コロナウイルスの感染拡大で、マスクが手に入りづらい状況が続いている。布とガーゼを使って手作りしてみようという。手芸用品店「サワヤ」(本社・東京)で作り方を教えてもらった。

今回作るのは、3段のプリーツが付いたマスク。同社の石橋玲那さんは「シシンの使用量は30分程度、手縫いで1時間程度で出来ると話す。

表側になるのは、通気性が高く綿や麻が向く。裏側を使うガーゼは手が入らないように縫い合わせる。耳で

の縦を12.5cmほどにする。横幅は手先の幅に合わせて決める。

「大変な時ですが、好みの布を選びたい。着けているのが楽しくなるマスクを作ってみてほしい」と、石橋さんは勧める。同社は、様々なタイプのマスクの作り方を、動画投稿サイト「ユーチューブ」の同社のチャンネル(https://www.youtube.com/channel/UCBYYX1tW0n09dZSR5MJW4kE)で公開中。

ウイルス飛散防ぐ

マスクは、ウイルスを100%は遮断できないため、感染予防の効果は限定的だが、感染者がせきやくしゃみで周囲にウイルスをまき散らすのを防ぐ効果が期待できる。

布製のマスクは、中性洗剤で手洗すれば繰り返し使える。布の種類によって目の粗さや肌触りなど、マスクに向かないものもある。一般的には裏地をガーゼを使うが、染料のりなどが原因でアレルギー反応を引き起こすことがある。

家庭科教科書 p110にも簡単バージョンが載っています